

第14回 「熊本県医療人育成総合会議」 の開催

第14回熊本県医療人育成総合会議は、「医療機関における働き方改革と医療人育成」のテーマで、令和5年11月23日(木)に熊本大学医学部キャンパスで開催した。

令和6年4月から「医師の働き方改革」が開始され、これまでの過重労働を法的・強制的に是正させるもので、一般的には医師の時間外労働は年間960時間以下に制限される。その一方で、高齢社会の医療需要増加で医師不足状況はすでに顕著になっており、医師の業務内容を大幅に削減せざるを得ない。対応策の一つとして医療業務の一部を他の医療技術職に依頼するタスクシフトが挙げられており、当然、医療技術職の業務量は増加する。この医療現場の変容は、医療人育成、特に臨床実習や医療技術系学生の教育内容に大きな影響を与えると予想される。この危機を、臨床実習の効率化や共同化につなげる好機に逆転できないか、医療人、教育者、学生の知恵を出しあって討議を行った。

なお、開催に関しては実行委員会を設置し会議の内容の詳細を企画・立案した。参加対象者は、医療関係の大学・専門学校等の教育関係者、各医療技術者、協



講演：甲斐先生



学生討論

会の代表者、病院関係の代表者、行政関係の担当者のほかに新聞等で学生や一般参加者も募り約100名の参加があった。

後日、熊本日日新聞紙面で掲載し、YouTube 公開を並行して行った。

助成金・表彰式

本年度も例年どおり4月から6月末まで募集を行った結果、医学研究助成金に11名の応募があり、また、外国人留学生奨学金には6名の応募がありました。

これらの応募者について、選考委員会において審査の結果、医学研究助成金4名及び外国人留学生奨学金4名の授与候補者が選考され、その後、常任理事会の承認を経て受賞者が決定されました。

これを受けて、令和5年11月16日(木)に授与式を開催し、それぞれ15万円を贈呈するとともに、医学研究助成金については「学術奨励賞」を、外国人留学生奨学金については「優秀留学生表彰」を付与し表彰いたしました。



授与式

●医学研究助成金（学術奨励賞）

イナダ ヒロキ 熊本大学大学院生命科学研究部
稲田 浩気 消化器内科学講座 特任助教

「低分子化合物で誘導したヒト肝前駆細胞を用いた先天性肝代謝疾患モデルの創出」

コウワキ タカヒサ 熊本大学大学院生命科学研究部
幸協 貴久 免疫学講座 助教

「ウイルス感染における好中球の多様性の解明」
ハヤシ ヒデタカ 熊本大学病院 画像診断・治療科
林 英孝 診療助手

「心アミロイドーシスにおけるCTを用いた心筋細胞外容積定量化の臨床導入に向けた検討」